

第44回ことう地域チームケア研究会

権利擁護制度の活用 ～成年後見制度について～

令和2年7月9日(木)

社会福祉法人彦根市社会福祉協議会

彦根市権利擁護サポートセンター 野瀬 純一

◆ 「法定後見制度」の3類型

	補 助	保 佐	後 見
本人の状態	<ul style="list-style-type: none">○判断能力が不十分○ものの忘れは多いが 自覚はある○意思疎通は十分可能○契約書類などの理解 は困難	<ul style="list-style-type: none">○判断能力が著しく 不十分○自覚しないものの忘れが ある○日常の買い物くらいは できる○意思疎通は困難を 伴う	<ul style="list-style-type: none">○判断能力が日常的 に欠けている○日常的な買い物も できない○会話が成り立たず、 意思疎通は困難
判断能力 → 低くなる			

◆後見人等に付与される権利

	補 助	保 佐	後 見
与えられる権利	△代理権	△代理権	◎代理権
	△同意権	○同意権	◎同意権
	△取消権	○取消権	◎取消権
	限定的  全般的		

◆後見人等の役割①



<財産管理>

1. 契約の締結ー不動産や動産の売買や
土地建物の賃貸契約など



2. 費用の支払ー税金や入院、介護保険に
かかる費用の支払いなど



◆後見人等の役割②



<身上監護>

1. 日々の暮らしに必要な手配
ー住居の確保、施設の入退所など



2. 健康や療養の手配
ー医療の確保、介護サービス利用など



◆後見人等では出来ないこと



例１）入院や手術など
命に関わる医療行為への同意

→ 親族等、第三者の同意が必要

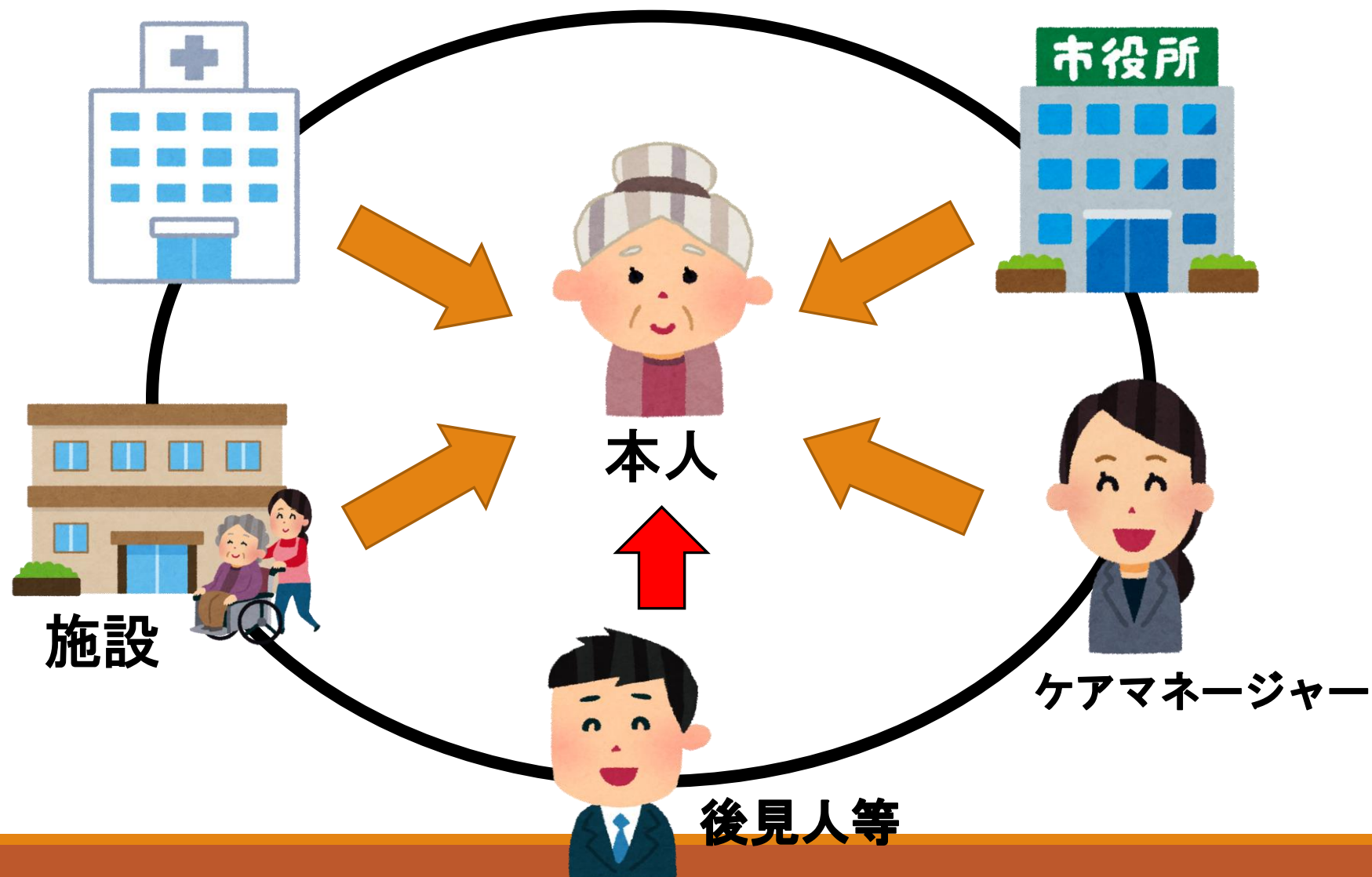


例２）施設等へ入所する際の
「身元引受人」

→ 親族や友人から探して頼む



◆後見人等もチームの一員！



◆後見人等報酬の目安

	業務内容	後見報酬	
		管理財産額	報酬額（月額）
基本報酬	通常の後見事務を行った場合	1,000万円以下	2万円
		1,000万円超～5,000万円	3万～4万円
		5,000万円超	5万～6万円
付加報酬（内容によって金額は異なる）			

◆ケアマネージャーさんとの連携



- 制度説明を求める本人や家族との調整
- 制度申立に必要な「本人情報シート」の作成
- 制度申立に必要な「診断書」作成時の受診同行
- 関係者との会議開催にかかる調整 など



◆まとめ

- ◎後見制度は**権利擁護**の手段の1つ
- ◎「**法定後見**」は効力が強い
→ **最終手段**として捉えておく
- ◎後見人も含む「**チーム**」で、本人支援を考え、進めていく

